学校番号	１０１０

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２	年次	３
使用教科書	『高等学校　改訂版　現代文Ｂ』（第一学習社）（第３学年では第Ⅱ章を扱います）						
副教材等	「意味から学ぶ頻出漢字３０００」（第一学習社） 「常用国語便覧」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ

「現代文Ｂ」では、言葉をとおして現実をみつめ、伝え合う力を高めて、二十一世紀における新たな日本で主体的に生きていくことのできる国語の力を育成することを第一のねらいとしています。受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することをこころがけてください。また、授業のみならず、日常生活の中でも読書活動などを通して積極的に言葉にかかわり、幅広い視野、人間性を身につける努力を続けてください。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、その向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め，発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙） 定期考査	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	評論	長倉洋海 「写真の持つ力」 論理的な文章を正確に読み取る。また、「ジャーナリズムに何ができるのか？」という問いに対する筆者の考えを理解する。	○			◎	○	ａ：語句や表現に注意して分脈を捉え、筆者の考えを正確に読み取る。 ｄ：具体例や対比の表現などから筆者の主張をとらえる。 ｅ：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小説	梶井基次郎 「檸檬」 作品の構成を明らかにするとともに、作品がどのように展開しているかを把握する。 「私」の心理の推移について、作品の展開に即して確認する。	○			◎	○	ａ：感覚的で生き生きとした表現を味わう。 ａ：「檸檬」がどのように「わたし」をとらえたかを探る。 ｄ：小説の人物、情景、心情を的確にとらえる。 ｄ：「わたし」の感受性の特徴と心理状態の変化を読み取る。 ｅ：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
二学期	小説	森鷗外 「舞姫」 文語体の表現を味わい、内容を正確に読み取る。 主人公の心理と行動の変化を整理する。	○	○	○	◎	○	ｄ：小説の時代背景、舞台状況を踏まえ、出来事の経過を追って登場人物の内面の変化を整理する。 ｄｅ：近代文語文の表現の特徴をつかむ。 ａｄ：近代化の過程での国家と個人の関わりについて考え、登場人物が負わなければならなかった課題を明らかにする。 ａｂｃ：登場人物の生き方について感想や意見をまとめ、発表する。	a:行動の観察 b:意見発表の意欲と的確さ c:記述の確認及び分析 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	詩	萩原朔太郎 「自然の背後に隠れている」 詩の読み方に習熟する。 日常を少し違う角度から見る視点のおもしろさを味わう。	○			◎	○	ａ：韻律に注意し、描かれた情景や心情にふさわしい朗読を工夫する。 ｄ：文体や修辞など表現上の特色をとらえ、作品を深く味わう。 ｄ：日常の捉え方を破ることで表された感覚世界をつかむ。 ｅ：語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにする。 ｅ：語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにする。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	評論	野矢　茂樹 「言語が見せる世界」 評論の読み方に習熟する。 「プロトタイプ」という概念とその形成について理解する。	○			◎	○	ａ：問題意識を持って考察しながら文章を読む。 ｄ：評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ｄ：具体例や対比の表現などから筆者の主張をとらえる。 ｅ：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
三学期	評論	河野　哲也 「コスモポリタニズムの可能性」 評論の読み方に習熟する。 筆者が主張するコスモポリタニズムの考え方を理解する。住み慣れた世界を離れて経験と思考を重ねることの意義を考える。	○			◎	○	ａ：視野を広げ思考を進めながら文章を読む。 ｄ：評論の文章について要旨を的確につかむ。 ｄ：抽象的な概念について、例示をもとに理解し、全体的な論理構成を把握する。 ｅ：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している